



生活保護は憲法第25条に基づく正当な権利

生活保護は国民の正当な権利

問 生活保護は国民の最後のセーフティネット。憲法第25条に基づく国民の正当な権利であることを周知すべきでないか。

答 民生委員児童委員に周知を図りたい。生活保護のしおりについても工夫をしたい。



小学生のランドセルと教材

風疹の対応について

問 妊娠初期の女性が風疹にかかる、高い確率で難聴など障がいのある子どもが生まれるという。風疹の予防接種について、現在のどのような実施内容になっているか。

答 妊娠を希望している女性、その配偶者および同居者で風疹抗体

問 通知を出す前と後ではどのような変わったのか。

答 国の工夫がどのように実践されているか、1校ずつ調査した。

価が低いか陰性の人を対象に助成している。風疹単独ワクチンは4000円、麻疹・風疹混合ワクチンは6000円を上限に市が助成。新潟県は抗体検査を無料で行っている。

乳児用液体ミルクについて

問 以前、災害時の乳児用液体ミルクの活用を提案した。平常時にゼロ歳児保育施設などで液体ミルクを使用してはどうか。

答 保育所では、日ごろ家庭で飲んでいるミルクと同じものを提供している。現時点では乳児用液体ミルクを導入する考えはない。

広域観光について

問 弥彦神社周辺を県央が協力して新潟県観光の核とできないか。

答 関係団体が共同してインバウンドも含め観光誘客に努めたい。県央地域観光振興会議で協議したい。

国保税均等割を多子世帯には軽減を

問 国保税額の算定で、子どもが多いほど引き上がる。多子世帯の均等割を軽減すべきでないか。

答 市町村ではなく国で議論されるものと考えて。国の動向を注視したい。

工学系の公立4年制大学、医療系の専門学校の開設について

問 高等教育環境の充実と高校生への魅力の発信の進捗状況はどうか。

答 高等学校でのふれあいトークは、三条商業高校、新潟県中央工業高校、三条高校の3校で約1600人を対象に行い、三条東高校は日程調整中。また、県中央工業高校とは30年3月に大学の開設に向け協定を結び、三条ものづくり部では市内外5校8人が活動中。

問 この大学や専門学校への認知度向上のため、近隣の学校の生徒に名前の公募をしたらどうか。

除雪体制について

問 除雪は、県と市がそれぞれ別々に線で行うより協力して面で行った方が効率がいい。県との連携をさらに進めるべきか。

答 異常降雪により雪害対策本部を設置する段階で、国、県に職員派遣を要請するなど体制の転換を図った。今後も国県道や市道の垣根を取り払った連携強化について引き続き協議していきたい。

水道法改正案について

問 国会で議論されているが、三条市は上下水道の民営化をする考えはあるのか。

答 状況に大きな変化が生じない限り、体制を変更することなく進めていきたい。

地方創生に向けた財源について

問 ICO(イニシャル・コイン・オフリング)、いわゆる新規仮想通貨公開による資金調達を検討しているか。

答 先進他団体の取り組み状況を注視しつつ研究していきたい。

青年就農者の育成を

問 三条市は青年就農者育成給付金を実施しているが、研修先は茨城県であり気候風土や販路条件が三条市と異なる。雪の降る地域の先進農家を研修先にすべきでないか。

答 価格決定力を身に付けるため、営業力や販売力にも重点を置いた指導に秀でた先進農業者に派遣している。就農後もフォロウを行い青年就農者の育成に努めたい。

消費税について

問 軽減税率の導入に伴いインボイス制度が4年後に実施される。適格証明書が発行できない免税業者は取引から除外される懸念がある。免税業者の多い地域としてどう考えるか。

地域における消防力の向上について

問 高齢者や女性が扱いやすいように、既存の65mm口径の消火栓にアタッチメントを装着して、40mm口径のホースへの仕様変更を検討したらどうか。

答 40mmホースへの仕様変更、アタッチメントの配備については、地域住民からの消火の初動活動に協力していただくことを見据え、今後の検討材料にさせていただきます。



専門学校施設内完成予想図



大学施設内完成予想図



40mm消防ホース

問 自分たちの地域は自分で守るという意識を醸成するため、ホースの交換時期に取り扱い方の訓練や指導を行ってほしいのか。